



## スプーンの凹面で見ると、なぜさかさまにうつるの

### スプーンのへこんだほうは凹面鏡

球面鏡のうち、表面がへこんでいるものを凹面鏡（おうめんきょう）、でっぱっているものを凸面鏡（とつめんきょう）といいます。スプーンのでっぱったほうに、顔をうつしてみましよう。顔は横に広がったように太って見えますが、へこんだほうで見ると、やや小さめにさかさまにうつって見えます。

### 凹面では、光は反射して「焦点」をむすぶ

スプーンのへこんだほうは、凹面鏡になっていますね。凹面鏡は、まっすぐに入ってきた光を内側の「焦点」に集める性質をもっています。

下の図は、人のすがたがスプーンの「焦点」Fより遠くにあるとき、さかさまにうつるようすを描いたものです。この場合、実際のすがたより、ずっと小さく見えます。

光が凹面にぶつかって内側のほうに反射し、「焦点」をむすぶことによって人のすがたがさかさまに見えるのです。（監修 小川 格）

